「夢と志を育てる学園」

玉手山学園 広報

Vol.89
2019 新年号

巻頭　理事長あいさつ

豊かな心（志、想い）を形に、行動に！“やってみよう！”

建学の精神「感恩」

人は　さまざまな恩恵のもとで　生かされている
この真理に目覚め　感動と感謝から生まれる　豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い　行動するとき　私たちは成長し　社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い　気づき　感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が 生まれる～

感恩

巻頭　理事長あいさつ

豊かな心(志、想い)を形に、行動に! “やってみよう!”

謹賀新年　実直に「豊かな１年」を

みなさま 新年あけましておめでとうございます。2019年(平成31年(新しい元号は?) 亥年)を実直に歩み、「豊かな1年」を祈念いたします。学園は「第3期(2018~2022)中長期計画」の2年目に入ります。

豊かな心(志、想い)を形に、行動に! “やってみよう!”

新しい1年をどう過ごしますか? 豊かな心(志、想い)を躊躇うことなく、その実現(形にする)に向け、動き始めましょう。逃げる理由より、「できる方法」を考えて“やってみましょう”。失敗を恐れ過ぎていては、プラスは少ないと思います。失敗(痛み)も成長につながります。“夢は逃げない、逃げるのはいつも自分”。さあ、「夢と志」を育てましょう。

建学の精神「感恩」 “ありがとう”を形に、行動に!

私たちは授かった人生において、多くの「ありがとう」に必ず巡り合います。その「ありがとう」に気づき、人の幸せを願う思いを形にし、行動することで、新しい「ありがとう」が生まれます。「ありがとう」は人を育てます。何の、どうして「ありがとう」なのかに気づき、そして「行動する」ことはとても大切です。

柏原市民フェスティバル(H30.11.4) ダブルタッチ　キマッタ

柏原市民フェスティバル(H30.11.4) 美ら海(cyuraumi)から沖縄県人会

柏原市民フェスティバル(H30.11.4) 高校ダンス部
去年よりだんぜん　キレッキレッ

昨年 多くの災害(地震、豪雨、台風)学園の仲間"構成員"にも影響が お見舞いの心(何かできることはないか)を形に、行動に!(学内ボランティア)

昨年(2018年)は自然災害を身近に意識する年でした。本学園の学生や教職員に、幸い人的被害はありませんでした。しかし居宅が床上浸水など大きな被害を受けた方が20数名おられました。復旧の基本は『自助』ですが、学園の"仲間(構成員)"に何かできることはないだろうか? その気持ちを学園は"見舞金"という形に表しました。"お気の毒に、何か力になれたら"という豊かな心はみんなが持っています。もし、学内ボランティアを編成して「自分たちの仲間に」、少しでも「何か形にし、行動する」ことができていたら、どれだけ"元気、やる気"を届けることができたでしょう。平素から心の準備をして、来てほしくはありませんが"次のまさかのとき"に備えたいと思いませんか。

学園のある街、柏原　青春のふる里を思う心を形に、行動に!　地域連携クラブで

みなさんはいずれ卒業・退職し、学園は永遠の「青春のふる里」になります。学園のある柏原はその舞台です。その街がいつまでも元気で楽しい街であってほしい。そう思ったことが一度はあると思います。街のために何かできることはないか。その豊かな心を形にして行動しましょう。そして街のために汗をかき、ありがとうの言葉をもらい自分も成長する。これを活動の趣旨にしているのが「学園地域連携クラブ」です。街の活性化に「若者の存在、エネルギー」は欠かせません、学生・生徒のみなさんは大きな力を持っています。自分の存在感を実際に体感しませんか。組織的な活動でその機会、パワーは拡大します。クラブは今20数名が在籍しています。"何か面白いことないかな、何かしたいな"そう思っている方、お気軽にクラブの事務局、地域連携センター(*Tama Square*傍)をお訪ねください。

食事(お腹も心も満たす)を快適に みんなでできることを形に、行動に!

学園本館1Fの食堂が改装され、今年4月から新しくなります。大勢が毎日来るこの場所が、みなさんどうあってほしい(どうしたい)ですか。美味しく、健康的で、安く、早くて、オシャレで、快適で、遅くまで....などいろいろな願いがあると思います。ぜひ少しでも、一つでも願いに近づけましょう。現在、食堂改善の***WT***と食堂運営会社(なる様)が一生懸命に改善策を練っています。でも一番大きな力は、大勢の利用者のみなさんが、改善の取り組みに関心を持ち、改善策に協力することです。それは積極的に意識的に食堂を利用し、満足や不満足を好意的に提言することです。「大阪一」の学食にみんなで育てましょう。

学園食堂生まれ変わる(H31.4～)　大勢で使ってますますゴキゲンに!

夢と志を育てる(*We raise up dreams and wills.*)　「若さは宝」

新年が明けました。みなさん、「夢と志」の調子はいかがですか。「できない(逃げる)理由(言い訳)」を考えていませんか。もしそうなら「できる(チャレンジする)方法」を考えましょう。***Yattemiyou!*** の気概を大切に、「若さは宝」お忘れなく!

*Tama Square*で弾けよう♪♪♪

思感

理事長・学園長　江端 源治

健康福祉学部 福祉栄養学科の新実習教室が完成

大学　福祉栄養学科　学科長　峯松 正敏

新年あけましておめでとうございます。新年号の誌面に福祉栄養学科の新しい施設・設備で華を添えられるのは、大変晴れがましい気持ちです。

本学科は平成15年4月設立以来、実験実習科目を学園本館建物にある「実験棟」の教室で行ってきました。この度、一部実習教室を大学2号館6階へ移転して改修を行い、平成30年9月28日から運用を開始しました。

新たに移転改修した実習教室は、福祉栄養実習室A・臨床栄養学実習室・栄養教育論実習室の3教室です。新実習教室の特長は、1）電子黒板やプロジェクターとiPadが連動した「ICTによるリアルな実習・演習教育」でPBL対応の充実。2）「親近感のある学生指導」を促進する学生相談ブースの設置。3）「感性品質」を向上させた室内設計でWeb、SNSによる情報発信を重視したことです。機能面の充実とともにテーマカラーを設けて、「見映え質感」を大きく向上させました。さらに改修は続き、「日本酒とワイン醸造プラント」「健康教育プログラムの開発」「基礎分野における実験研究」をはじめ、地域貢献を目指す6つの学科共同研究を『ふっかの夢ラボ』として推進します。これを発信する『ふっかの健康食ラボラトリー』を構築し、念願のオリジナルHPを公開しました。

【福祉栄養実習室A】

【栄養教育論実習室】

【臨床栄養学実習室】

多くのご協力があって完成した実習教室です。玉手山学園の発展へ必ず寄与するとの思いから、学科教員助手は努力を続けています。皆さまに暖かく見守られて育つのは、園児・生徒・学生のみならず、私たちもまた同様であると実感します。ぜひ新しい実習教室へお運びください。

健康福祉学部 福祉栄養学科の オリジナルホームページ 「ふっかの健康食ラボラトリー」HPを公開

大学　福祉栄養学科　有泉 みずほ

福祉栄養学科では、管理栄養士課程の学生が日ごろの学びの成果として開発したレシピを、学内のみならず広く地域社会の健康づくりに寄与することをめざし、関西福祉科学大学が発信するレシピと栄養情報サイト『ふっかの健康食ラボラトリー』を構築し、平成30年10月からWeb上に公開しています。

本サイトでは、「野菜たっぷり」「減塩」「低エネルギー」「カルシウムたっぷり」「鉄たっぷり」という5つの健康テーマでレシピ検索できることや、学科教員から健康・栄養情報のコラムや『ふっかの夢ラボ』の研究成果を発信する場となることが特徴です。

【ふっかの健康食ラボラトリーHP】

レシピを継続的に提供していく取組みとして、学科内で「健康食レシピコンテスト」を実施しています。二次審査（教員審査）は考案学生によるレシピのプレゼンテーション形式で行い、低学年の学生も参加します。低学年の学生は、先輩たちの本格的なプレゼンテーションから、レシピに込められた熱い思いやさまざまな工夫に触れ、自分たちの学びがその土台になっていることを知り、将来への目的意識や学習意欲の醸成の機会となっています。

今後は、学園内において本サイトを広く周知していくために、学園内食堂にてサイト内のレシピを使ったメニューの提供や、サイト内のレシピを作る料理教室（大学生対象）の実施、さらに地域社会への普及に向けて柏原市との連携も予定しています。

学生が健康食レシピの開発や、学科内共同研究『ふっかの夢ラボ』など、さまざまな場面でこの“ラボ”に参加型学習として加わることで学生自身が成長し、併せて本サイト自体も充実していくことをめざしています。

【レシピの試作検討会】

ふっかの健康食ラボラトリー　Instagram　twitter

学生によるバリデーションの取り組みプロジェクト

大学　社会福祉学科　都村尚子

「学生によるバリデーションの取り組みプロジェクト（通称バリプロ）」は、平成27年、当時の社会福祉学部4年生の一人の学生が発想し、具現化させた学生主体のプロジェクトです。現在、このプロジェクトには約40名の学生（1～4年生）が所属しています。その活動は、認知症に苦しむ高齢者とその家族に良好なコミュニケーション（バリデーション）を届けることで、人間関係を回復することや、生きる意欲を取り戻すこと等を主な目的としています。

その目的をかなえるため、

①月に1～2回程度の「勉強会」の開催、

②近隣の高齢者福祉施設での週1回の「バリデーションの実践」、

③柏原市社会福祉協議会や社会福祉法人コイノニア福祉会等との協働による月3回の「認知症カフェ」、

④バリデーションの普及を目的とした「広報活動」等、

これら4つを主な活動内容としています。

特に③に挙げた「認知症カフェ」では、柏原市社会福祉協議会の職員、社会福祉法人コイノニアの職員、地域住民の方と協力し合い、毎回多くの参加者に美味しいコーヒーやお茶菓子で、コミュニケーションの時間を大切にしながら、おもてなしをしています。このカフェをより居心地の良い場所にするため、各関係者で年に数回ミーティングを行っており、学生も関係者として、地域福祉を実現するべく参画しています。このように、学生の時からソーシャルアクションや社会資源の開発を実践するための場として、バリプロの存在意義は大きいと考えています。

第15回 美葉祭

大学・短大 学生支援センター　稲田 杏奈

10月27日(土)、28日(日)の2日間に亘り、第15回大学祭(美葉祭)が開催されました。今年度は『It 's 笑 time』のテーマのもと、メインイベントであるカラオケ大会、模擬店やフリーマーケット、クラブ・サークル団体によるステージイベントや館内イベント、大抽選会、移動動物園、キッズコーナーやメディカルチェックなどが行われました。今回は初めての試みとしてタマスクエアにフワフワバルーンを設置し、子どもから大人まで元気良く飛び跳ね、目一杯楽しんでいる姿が印象的でした。

芸能人ゲストでは、見取り図、祇園、霜降り明星を迎えての吉本お笑いLIVE、人気声優の上村 祐翔さん、吉永 拓斗さんの声優トークショー、大道芸人のキャサリンによるパフォーマンスショーが開催され、多くの観客の皆さんを魅了し盛り上がりました。

今年度は両日とも天気に恵まれ、約1,500名の来場者にお越しいただきました。

来年度も皆さんに楽しんでいただける企画を実施しますので、ぜひご来場ください。

第9回関女技能オリンピック

大学・短大　学生支援センター　稲田 杏奈

12月1日(土)に第9回関女技能オリンピック表彰式が開催されました。このオリンピックは、各学科の専門職に特化した技術を競い合う技能大会のことで、技術の向上と自己研鑽を目的として実施しています。10月から11月にかけて各学科で行われた予選・本選にて優秀な成績を収めた学生、ゼミが表彰されるとともに、金賞受賞者による素晴らしい実演が披露されました。

★保育学科

テーマを「昔話を知ろう」「元気なからだ」「自然をもっと知ろう」のいずれかから各ゼミが自由に選択し、渡邊ゼミによる～劇遊び、歌とパフォーマンス「なにをつくろうかな」～が披露されました。

★歯科衛生学科

「清潔操作と印象採得」のテーマのもと、器具準備から手洗い等の清潔操作、印象材の練和から圧接まで行う印象採得の実演がありました。

★養護保健学科

テーマは「保健教育」。金賞を受賞した久保・東尾ゼミの「アリスとたばこの王国」では、喫煙による身体への影響についてアリスとオコジョと一緒に楽しく学ぶことができました。

★医療秘書学科

テーマを「再診受付と会計での患者応対業務」とし、患者さんへの丁寧かつ適切な応対が実演されました。

笑顔いっぱい 保育フェスタ 造形作品展＆アートワークショップ

短大 保育学科　宇津木 七実

毎年11月23日(祝)に開催される「保育フェスタ・造形作品展」は、今回で10回目となりました。保育職を目指す学生の表現に関する学修の成果発表の場であり、「子どもたちとのふれあい」が学びの機会となるよう、保育学科の教職員と学生が一緒に試行錯誤をしながら開催を重ねてきました。

今回は天候にも恵まれ、冨宅柏原市長はじめ学園内外からの来賓の方々、附属幼稚園や地域の子どもたちと保護者の方々など、354名と多数の方に御来場頂きました。同時開催のアートワークショップ会場にも、子どもたちの楽しそうな声と嬉しい笑顔があふれていました。

学園祭『WAY ～無限の可能性～』

高校　小森 泉

今年度の学園祭のテーマは、「WAY ～無限の可能性～」です。代議委員会が中心となり全校生徒に公募し、生徒会役員による選考の結果、このテーマに決定しました。本校では文化祭と体育祭を合わせて学園祭とし、生徒会活動の中心に位置付けています。高校本館が出来て2年目、蜂の巣校舎が撤去され、タマスクエアとして生まれ変わり、文化祭も少しずつ様変わりをしました。

例年通り、各クラス・クラブともテーマに沿って出し物を決定し、企画書に基づいて準備を始めました。今年度から、1年生は展示と舞台、2年生はイベントと舞台、3年生は模擬店または縁日と決め、早い時期から制作に取り組んでいました。文化祭前日祭の舞台鑑賞では、生徒たちの要望を取り入れ、吉本興業の人気漫才師3組を招きました。本祭では、巨大アート・灯篭・ステンドグラス等の展示物、イベントクラスは、迷路・ストラックアウト・的あて等、立体型の出し物が多数あり、バラエティーに富んでいました。舞台発表では、記念講堂のほか、今年初めて、高校本館7階にある多目的室で、吹奏楽部とギター部の発表を行いました。模擬店では、昨年度の高校本館軒下での野外実施に続き、今回は新しく出来たタマスクエアでの実施も併せて行いました。そのため例年にも増して盛況で、順番待ちの行列ができるほどでした。

学園祭の締めくくりは体育祭でした。雨で一週間順延となりましたが、当日は朝から絶好の体育祭日和となりました。今回で5回目となる応援合戦では、例年以上に学年ごとに趣向を凝らし、エールの交換では、代表生徒と学年の生徒全員が一体となったパフォーマンスを披露し、練習の成果を大いに発揮することができました。本校の伝統である3年生男子によるマスゲーム、女子の創作ダンス共に、雨のためにグランドでの練習がほとんどできない状態の中で本番を迎えることになりましたが、それを感じさせないくらい見事な演技を見せてくれました。

学園祭は終了しましたが、私たちは今回のテーマである、「無限の可能性」を追求し、今後の高校生活の中で夢に向かって新たなスタートを切っていきたいと思います。

平成30年度　クラブ活動状況

高校　小森 泉

平成30年11月5日までのクラブ戦績。

日本拳法部

第22回西日本高等学校選手権大会(4月　大阪府)
　団体戦　男子　優勝　女子　準優勝

第22回西日本高等学校選手権大会(5月　大阪府)
　個人戦　男子有段の部　優勝　準優勝　第5位(2名)
　　女子の部　第5位(2名)

第17回大阪高等学校春季大会(5月)
　団体戦　男子　優勝　女子　優勝
この結果、平成30年度全国選手権大会に男女とも、大阪第一代表として出場が決定した。

第63回全国高等学校日本拳法選手権大会(8月　静岡県)
　団体戦　男子　優勝　最優秀選手賞獲得
　　女子　第3位　優秀選手賞獲得
　個人戦　男子　優勝、第3位、第5位
　　女子　第5位

平成30年度第73回大阪高等学校総合体育大会日本拳法競技会
(8月:団体 9月:個人)
　団体競技　男子　優勝
　　女子　第3位
　個人競技　男子　優勝　準優勝
　　女子　準優勝　第5位

2018日本拳法総合選手権大会(9月　大阪)
　第48回全日本拳法高校個人選手権大会　第3位

平成30年度第65回大阪私立中学校高等学校体育大会(10月)
　団体戦　男子　優勝
　　女子　準優勝

バドミントン部

2018年度全国高等学校総合体育大会大阪府予選会
(4~6月　大阪府)
　学校対抗の部　女子　第3位
　学校対抗の部　男子　第3位

第73回大阪高等学校総合体育大会バドミントン競技の部
　学校対抗の部　女子　第3位
　学校対抗の部　男子　第3位

第64回近畿高等学校バドミントン選手権大会大阪府予選会
(8月　大阪府)
この大会で女子4名・男子4名が、11月に京都府(福知山市)で行われる、近畿高等学校バドミントン選手権大会に出場が決定した。

第67回近畿総合
バドミントン選手権大会
　ダブルスの部　女子　2回戦敗退

第65回大阪私立高等学校
総合体育大会バドミントン競技の部
　学校対抗の部　女子　第3位
　学校対抗の部　男子　準優勝

なぎなた部

平成30年度春季大会兼全国高校総体大阪府予選兼国体1次予選会(6月　大阪府)
　団体の部　準優勝
　演技の部　準優勝　第3位
　個人の部　第3位　第4位
この結果、演技の部で全国高校総体(三重インターハイ)に出場が決定した。

平成30年度全国高等学校総合体育大会
　演技の部　予選リーグ　2勝0敗で決勝トーナメントに進出
　　決勝トーナメントで敗退

平成30年度大阪私立高等学校なぎなた大会(9月　大阪府)
　学校対抗代表団体の部　優勝
　トーナメント代表の部　優勝
　演技の部　第3位
　個人の部　準優勝

第73回大阪高等学校総合体育大会なぎなた競技大会
(8月　大阪府)
　団体の部　優勝
　演技の部　優勝　第3位
　個人の部　準優勝

平成30年度近畿高等学校なぎなた選手権大会大阪府予選会
　団体の部　優勝
　演技の部　優勝　第2位　第5位
　個人の部　優勝　第5位(2組)

水泳部

第26回近畿私学中学高等学校水泳競技大会(5月　大阪府)
　男子　400mメドレーリレー
　女子　50mフリー　200mリレー　100mフリー
　男子・女子　200mメドレーリレー　　出場

バレーボール部

平成30年度春季大会兼大阪高校選手権大会兼全国高校総合体育大会大阪地区第2次予選
豊島高校を2−0で破り、平成30年度近畿高等学校バレーボール優勝大会に2年連続4回目の出場が決定した。

卓球部

第71回大阪高等学校卓球選手権大会(5月　大阪府)
　女子学校対抗　第3位入賞
　女子シングルス　ベスト16
　女子ダブルス　ベスト8　ベスト16
この結果、全種目で第72回近畿高等学校卓球選手権大会(滋賀)に出場が決定した。

第57回近畿卓球選手権大会（9月　大阪府）
女子ジュニア部門で、1名が高体連より推薦され出場が決定した。

第71回大阪高等学校新人卓球大会（10月　大阪府）
女子ダブルスの部　ベスト8
この結果、第33回近畿高等学校新人卓球大会（12月 大阪）に出場が決定した。

陸上競技部

第17回阪奈和高等学校対抗陸上競技大会（4月　奈良）
女子　走幅跳 第5位、三段跳 第5位

第71回大阪高等学校陸上競技、対抗選手権大会（5月　大阪）
女子　走幅跳、三段跳、走高跳、4×100m
男子　円盤投、4×100m

第73回大阪高等学校総合体育大会（8月　大阪）
女子　走幅跳、走高跳
男子　800m

美術・漫画研究部

第67大阪私学美術展（兼 大阪私立中学高等学校芸術文化祭典）
工芸部門　奨励賞4名
デザイン部門　優秀賞1名
イラスト部門　奨励賞1名

吹奏楽部

第57回大阪府吹奏楽コンクール（7月）
（部員増加により、今年度初めて大編成で挑む）
中地区大会　銅賞獲得

1・2年スポーツ大会

高校　山口 翔大

10月29日（月）、平成30年度スポーツ大会が開催されました。当日は爽やかな秋晴れで、1・2年生ともに熱気あふれる試合が展開されました。

1年生は綱引きと大縄跳びを実施しました。綱引きでは、一人ひとりが持っている力を最大限に出して、必死に戦いました。周りの応援も盛大で、男子が女子に、女子が男子にものすごく大きな声をかけていました。大縄跳びでは、1回でも多く、という気持ちで皆真剣に跳んでいました。練習の成果も十分発揮され、200回近く跳んだクラスもありました。

2年生のバレーボールは、総合体育館と第二体育館に分かれて実施しました。各クラス、体育の授業や休み時間に練習してきたことを自信に変え、絶対に優勝したいという気持ちで一生懸命ボールをつないでいました。クラス全員の熱い思いやバレーボール部の活躍などにより、非常に白熱した感動的な大会となりました。

各学年、各クラスの団結力がより深まり、学校全体が熱くなる1日になりました。

ダンスバトン部 市民フェスティバル出場!!

高校　一瀬 美恵子

11月4日（日）、第10回柏原市民総合フェスティバルに出場させていただきました。今回で3年連続の出場となり、部員23名、楽しくダンスを披露することができました。

今年は、さらにレベルアップして参加したいと思います。

うれしい たのしい 運動会

幼稚園　杉岡 朋

平成30年10月8日(月・祝)に運動会が行われました。しばらく雨が続いていましたが、当日は素晴らしい秋晴れに恵まれ、元気な子どもたちの歌声から運動会のスタートです!運動場いっぱいに張り巡らされた、子どもたちの描いた旗が、空に気持ちよくなびいています。子どもたちの目は、キラキラ!期待に胸が膨らみます!!ファンファーレが鳴り響き、元気に入場。たくさんのお客様に、目をくりくりさせていました。そして、いよいよそれぞれの出番がやってきます。

年少児桃組、満三歳児ひよこ組にとっては、はじめての運動会!そんな中でも、小さな身体を精一杯伸ばして、演技する姿がありました。かけっこでは、ワクワクしすぎてピストルの音を待ちきれず、飛び出してしまう姿もありましたが、笑顔いっぱい最後まで頑張って走り切りました。

年中児赤組は、全員が忍者になりきり、素早く走ったり、「にんにん!」と元気いっぱい踊ったりしました。親子競技や親子ダンスでは、幼稚園で見る姿とはまた違う、表情をたくさん見せてくれました。

そして、幼稚園生活最後の運動会になる、年長児青組は、みんなで力を合わせてリレーを走ったり、組立体操や遊戯をしたり、体育遊具での演技や剣道を披露しました。特にリレーでは、最後まで諦めずに、自分の力を精一杯出し切り、ゴールテープまで前を向いて走り切る姿に感動しました。また、組立体操では、自分の役割をしっかりと果たし、みんなでひとつのものを完成させることが出来ました。

それぞれの学年で、一人ひとりの成長を感じることのできた、運動会になったと思います。運動会にご協力いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。

秋の自然がいっぱい!の遠足

幼稚園　冨田 夢乃

二学期には楽しいことがいっぱい。その1つにみんなが楽しみにしている園外保育がありました。10月末は、芋掘りとみかん狩り。芋掘りでは汗をいっぱい流しながら、スコップで一生懸命土を掘りました。土の中からお芋が見えてくると「お芋出てきた!」と大喜び。大きな芋がたくさん掘れました。みんなが掘った芋は、後日給食でふかし芋にしてもらい、「おいしい!」と大満足でした。

みかん狩りでは、長い坂道を頑張って登りました。坂道の途中で「みかんは、まだ?」「早く食べたいな」とみんなワクワク。みかん畑に着くと、一人ひとり木からみかんを取りました。自分で取って食べたみかんは、特別甘くて美味しかったようです。

11月になると、待ちに待ったあおぞらⅡに乗って、秋の遠足。全学年で大阪教育大前駅まで歩いて電車に乗り、橿原神宮へ行きました。あおぞらⅡがホームに来ると「わぁー!きた」「これ乗ったことある」「早く乗りたい!」とみんな大興奮。車内ではお友だちとワイワイお話しして過ごしました。あっという間に橿原神宮駅に到着。橿原神宮に着くと神社の大きな森の中に、幼稚園にはない、いろいろな種類のどんぐりや赤や黄色の落ち葉がたくさんありました。一人ひとりがそれぞれ作った手作りの袋にどんぐりを袋いっぱいに大喜びで集めていました。いっぱい歩いて疲れたのか、帰りの車内では少しウトウトしている子もいましたが、最後まで頑張って園に帰ってくることができました。お芋やみかん、木の実や虫たちと、たくさんの自然に触れ、思い出に残る遠足になりました。

みんなで食べるとおいしいね！

幼稚園　三木 亜莉沙

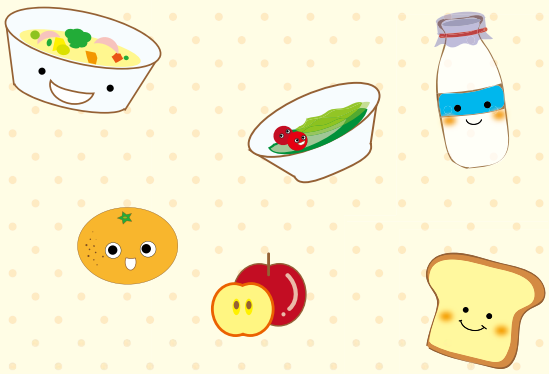
4月から自園給食が始まりました。子どもたちは、季節の食材が豊富に使われた給食が大好きです。「おいしい!」と言いながら嬉しそうに食べている子どもたちの姿を見ていると、ほっこりとした気持ちになります。

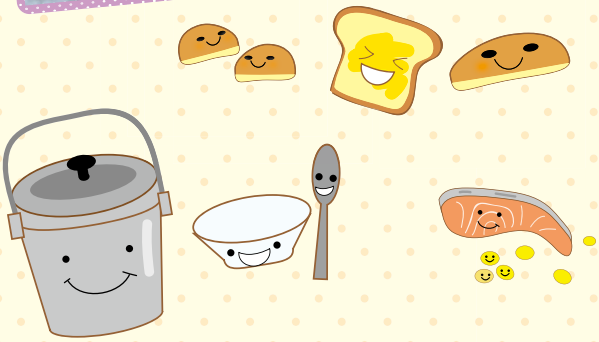
今年は食育活動の一貫として、それぞれの学年で、給食調理の手伝いを行いました。桃組・ひよこ組の子どもたちはきのこを細かく裂き、赤組の子どもたちはとうもろこしの皮剥きをしてくれました。青組の子どもたちはたけのこの皮剥きや、そら豆をさやから出す作業、お芋掘りで掘った芋洗いなど、子どもたちが実際に野菜に触れる機会がたくさんありました。自分たちが実際に触れた野菜が給食に出てくると「これ僕たちが剥いたからおいしい!」と言いながら、おいしそうに食べていました。そしてイベントとして、青組の子どもたちは流しそうめん体験も行いました。お箸を上手に使いながら流れてくるそうめんを楽しそうにすくっていました。

給食室は子どもたちが窓からのぞけるようになっており、大きなお鍋でたくさんの給食を作っているところや、調理員の方たちが一生懸命に作ってくれているところが見られて、目をキラキラさせています。

給食を通して、食べることの大切さや食べ物のありがたさ、みんなで食べるとよりおいしいことなど様々な事を知っていってほしいと思います。

子どもたちの「いただきます!」「ごちそうさまでした!」の声をこれからも大切にしていきたいです。





学校法人玉手山学園　経営理念

（平成30年11月30日　理事会承認）

建学の精神「感恩」

人は　さまざまな恩恵のもとで　生かされている
この真理に目覚め　感動と感謝から生まれる　豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い　行動するとき　私たちは成長し　社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い　気づき　感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が 生まれる～

使　命

建学の精神「感恩」を実践する人を育成し　豊かな未来社会をつくる

綱　領

1. 学生 生徒 園児のもてる力 志をひきだす
その教育実践により　学園職員も豊かになる
2. 教育人としての自覚のもと　自己の能力および人格の向上に努め　その使命を誠実に遂行し　未来を拓く「知」を継承 創造する
3. 各校園は　教育理念のもと　具体的な教育目標を掲げ　常に改革の意識をもって　創意工夫 試行を重ね　その達成に総力を結集する
4. 継続 発展を支える確かな組織力と　健全な財政基盤を確立する

ビジョン

【玉手山学園の実践・実現】
1. 夢と志を育てる学園（学園ブランドに）
～笑顔 あいさつ 優しさを大切に～
2. 学園教育力の向上
・教育の質向上（学修成果（できるようになる）・修学成就）
・組織安定
・4校園体制堅持（大学　短期大学　高等学校　認定こども園）
・健全収支
3. 地域共生　社会に愛され 成長する学園
4. 教育環境の充実（安心 安全 快適 ECO）
5. 学園総合力の向上
・各校園の相互協力（学園ファミリー意識）

柏原市市制施行60周年 記念式典 に参列して

地域連携センター　中井 松時

平成30年11月3日（土・祝）、柏原市リビエルホールにて柏原市市制施行60周年記念式典が挙行されました。

式典に先立ち、関西女子短期大学 保育学科コーラス部の学生と、関西福祉科学大学高等学校 保育進学コースの生徒による祝典歌が披露され大きな拍手に包まれました。

昭和33年に柏原市が誕生し60年を迎えたことを多くの参列者を迎えお祝いムードの中で表彰式が実施され、教育員会表彰の体育・スポーツ奨励賞として、関西福祉科学大学高等学校 日本拳法部の冨永 一希くんが個人として、同じく関西福祉科学大学高等学校 日本拳法部が団体として表彰を受けました。

市制施行60周年記念表彰として団体の部で玉手山学園と関西女子短期大学附属幼稚園が表彰を受けました。

地域に愛される学園を目ざし、地域貢献・地域交流を推進してきた事が評価されての表彰であり、これからも柏原市に玉手山学園があって良かったと思われるよう努力していきたいという思いを強く抱きました。

日本拳法部
冨永 一希くん

学園オリジナルグッズ販売開始しました！！

法人本部　経営企画室　後藤 知寛

玉手山学園では、学園に「親しみ」を持ってほしいという思いから、オリジナルグッズを製作しました。

このオリジナルグッズは、2017年の冬に立ち上がったワーキングチームにより約1年間かけて、考案・製作されました。メンバーは教職員だけでなく、大学生・高校生にも参画していただき、「会議中はどなたでも出入り・発言自由」にするなど、少しでも多くの意見を取り入れようと工夫しました。そして、ようやく完成!!

メンバーみんなで考えました学園オリジナルグッズを紹介いたします♪

①Tamaタオル

3種類を用意しました♪

泉州生地を100%使用した*Tama*タオル（3種類）は吸水性が良くスポーツやご家庭用にピッタリ。用途に合わせて3種類の大きさを選べます!

*Tama*ハンドタオル（およそ30cm×30cm）	100円
*Tama*フェイスタオル（およそ34cm×83cm）	200円
*Tama*スポーツタオル（およそ40cm×110cm）	500円

②TamaUSBメモリ（8GB）

1,800円

*TamaUSB*メモリは防水加工でデータの持ち運びに便利!

※金額は全て税込み

学園創立70周年(2012年)記念事業募金活用 Tama Square ～たまひろば～

法人本部　施設部　筒井 佑一

平成30年6月29日にオープンした「*Tama Square* ～たまひろば～」の製作費全額は学園創立70周年記念事業募金を活用させていただき、銘板を設置しました。

銘板にはタマブルー色を基調とした板に*Tama Square*と調和した白文字で「思い」を記しています。

「*Tama Square* ～たまひろば～」はオープン以降、学園の皆が集う場となっています。人工芝に寝そべっていたり、ベンチに腰を掛け食事や談笑している姿を多く見かけます。

みなさまのご厚志が形になり、多くの学生・生徒・園児が喜んでいます。

ご寄附いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。

学園広報編集委員会

委員長　湯川 雅紀（大学教育学部）
委　員　横山 学　（大学事務局）
辻村 匡志（大学事務局）
松村 奈美（高等学校）
村井 恵　（幼稚園）
植田 陽　（法人本部）
與原 真弓（法人本部）
松井 愛（法人本部）